

血液培養陽性症例における陽性化時間、検出菌種および臨床的意義に関する後ろ向き観察研究

1. 研究の対象

2018年1月1日から2026年3月31日までの期間に、大阪大学医学部附属病院において血液培養検査を受け、検査結果が陽性となった方

2. 研究目的・方法

血液培養検査は、血液中に細菌や真菌などの微生物が存在するかを調べる検査で、感染症の診断や治療方針を決めるために重要な検査です。一方、微生物の種類によって検査が陽性となるまでの時間が異なり、採血時に皮膚の常在菌が混入することなどにより、感染症の原因ではない微生物が検出される場合もあります。

本研究では、血液培養検査が陽性となった方について、検査が陽性となるまでの時間、検出された微生物の種類、診断、治療内容およびその後の経過を診療記録から調査します。また、菌の遺伝子情報を次世代シーケンサーで解析します。これらを解析することで、血液培養検査が陽性となるまでの時間や検出された微生物と、診断・治療およびその後の経過との関係を明らかにし、血液培養検査結果の適切な解釈や培養期間について検討することを目的とします。

本研究は、通常の診療ですでに得られた検査結果および診療情報、培養された菌株を用いて行う研究であり、この研究のために新たな検査や採血、治療を行うことはありません。

研究期間：研究機関の長の実施許可日～2031年3月31日

利用を開始する予定日：研究機関の長の実施許可日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：血液培養で培養された菌株

情報：年齢、性別、基礎疾患、血液培養検査の結果、血液培養が陽性となるまでの時間、検出された微生物の種類、薬剤感受性検査結果、感染症の診断、治療内容、入院期間、退院時の転帰、死亡の有無 等

4. 外部への試料・情報の提供

本研究では、外部の研究機関への試料・情報の提供は行いません。

5. 研究組織

(利用する者の範囲)

大阪大学大学院医学系研究科 感染制御学 教授 忽那 賢志
大阪大学大学院医学系研究科 感染制御学 准教授 松尾 裕央
大阪大学大学院医学系研究科 感染制御学 大学院生 高橋 佑輔
大阪大学大学院医学系研究科 罹患後症状治療学共同研究講座 中西 俊就
大阪大学医学部附属病院 感染症内科 医員 小松 加奈
大阪大学医学部附属病院 臨床検査部 部長 高原 充佳
大阪大学医学部附属病院 臨床検査部 臨床検査技師長 上野 智浩
大阪大学医学部附属病院 臨床検査部 主任臨床検査技師 上田 安希子
大阪大学医学部附属病院 感染制御部 技師 砂田 淳子
大阪大学大学院医学系研究科 変革的感染制御システム開発学寄附講座 寄附講座准教授 池亀 聡
大阪大学大学院医学系研究科 変革的感染制御システム開発学寄附講座 寄附講座講師 山本 剛

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-2

電話：06-6879-5070

大阪大学大学院医学系研究科 変革的感染制御システム開発学寄附講座
寄附講座准教授 池亀 聡

研究責任者：

大阪大学大学院医学系研究科 変革的感染制御システム開発学寄附講座
寄附講座准教授 池亀 聡